

# St. Luke's International University Repository

## 聖路加看護大学紀要投稿要項

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/480">http://hdl.handle.net/10285/480</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 聖路加看護大学紀要投稿要項

2004年12月21日改定  
聖路加看護大学紀要委員会

### 1. 投稿者の資格

紀要への投稿資格者は、次のとおりとする。

- ① 本学専任教員
- ② 本学非常勤講師，本学兼任教授，臨床教授
- ③ ①の共同研究者，その他紀要委員長が適切と認めた者

2. 掲載論文の選択・編集・掲載順序については、紀要委員会に一任とする。ただし、論文の内容によっては、紀要委員会が適当な第三者に、その審査を依頼することがある。

3. 論文の言語は、日本語あるいは英語とする。

### 4. 原稿の種類

分類、内容は以下のとおりとする。

#### 1) 論文

- ① 総説：ある主題に関連した研究の総括，文献についてまとめたもの
- ② 論説：主題に関する理論の構築，展望，提言
- ③ 原著：主題にそって行われた実験や調査のオリジナルなデータ，資料に基づき新たな知見，発見が論述されているもの
- ④ 報告：ケースレポート，フィールドレポート，教育実践報告，その他重要な記録など

#### 2) その他，国際学会，セミナー参加報告など

### 5. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。

### 6. 原稿執筆の要領

#### 1) 原稿の構成と表記

##### (1) 和文論文

- ① A4版，横書きで，1行を全角で35字（英字・数字は半角），1ページ28行（約1000字），原則として16枚（16000字）以内（図表を含む）。上下マージンなどの数値は定めない。原稿は、できるだけ当用漢字，新仮名遣い（JIS第一水準と第二水準に準拠したもので、コンピューターの機種に依存する特殊文字や絵文字，自作の外字等は用いない）で，字句・内容を明確に記すこと。
- ② 原稿には表紙を付し，表題および著者名，所属，専門分野を日本語と英語の両方で表記する。さらに学位，資格を英語で表記する（著者名は姓の文字のすべてと名の頭文字を慣用のローマ字の大文字で略さずに記載する。肩書き等はBulletinの表記に準ずる。）キーワード3～5語を日本語と英語の両方で表記する。
- ③ 400字程度の和文抄録と，250 words程度の英文抄録をつける。
- ④ 図表の使用は必要最小限にとどめること。図表および写真は，図1，表1，写真1等の通し番号をつけ，本文とは別に一括し，本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を指定する。
- ⑤ 外国の人名，地名に原語を用いるほかは，叙述中の外国語にはできるだけ訳語をつけること。
- ⑥ 注は脚注とし，必要最小限にとどめること。

##### (2) 英文論文

- ① A4版，12ポイント，ダブルスペースで，1行半角70字，1ページ25行，20枚以内（図表を含む）とする。
- ② 原稿には表紙を付し，表題および著者名，所属，専門分野，学位，資格を英語で表記する（著者名は姓の文

字のすべてと名の頭文字を慣用のローマ字の大文字で略さずに記載する。肩書き等は Bulletin の表記に準ずる。) キーワーズ 3～5 語を英語で表記する

③ 英文抄録, 図表および写真については和文論文に準ずる

(3) 文書ファイルの提出の注意

和文論文ならびに英文論文の本文の文書ファイル名は「本文」とする。和文抄録の文書ファイル名は「和文抄録」, 英文抄録の文書ファイル名は「英文抄録」とする。

ワード・プロセッサ・ソフトを用いて図表を作成する場合, 1 枚の図表ごとに文書ファイルを作成する。例えば, 本文中で表 1 (図 1) として参照している場合, 文書ファイル名は「表 1」(図の場合は「図 1」)となる。

## 2) 文献記載の様式

(1) 引用文献は, 本文の引用箇所の肩に<sup>1)~4)</sup>のごとく表し, 最後一括して引用順に掲げる。

本文中で引用文献を二度以上引用する場合は既出の番号を用いる(同上, 前掲などは使用しない)。

(2) 参考文献は, 最後一括して著者名のアルファベット順に記載する。

(3) 記載方法は, 下記のごとく表す。

・雑誌の場合 一著者名, 表題名, 雑誌名, 巻(号), 年次, ページ。

例:

豊増佳子, 岩井郁子. 「総合実習: 看護提供システム」の新しい試み—学生チームによるミニ病棟の実現—. 看護教育, 40(2), 1999, 92-95.

Shimanouchi S., Kamei T., Hayashi M. Home Care for the Frail Elderly Based on Urinary Incontinence Level. Public Health Nursing, 17(6), 2000, 468-473.

・単行本の場合 一著者名, 書名, 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数(シリーズ名, シリーズ番号)。

例:

小山真理子編. 看護教育のカリキュラム. 東京, 医学書院, 2000, 228p, 看護教育講座, 2.

Mcmillan, G.K. pH Measurement and Control. 2nd ed. Instrument Society of America, 1994.

・単行本の一章, または一部を参照する場合 一著者名, 章の見出し, 書名, 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, ページ。

例:

香春知永. 第 1 章 足浴ケアが生体に及ぼす影響. 看護実践の根拠を問う. 東京, 南江堂, 1998, 1-10.

・訳本の場合 一著者名, 書名, 訳者名, 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数。

例:

Oliver, R., Endersby, C.. プリセプター・臨床指導者のための臨床看護教育方法と評価. 小山真理子監訳, 東京, 南江堂, 2000, 230p.

### ① 著者名

・個人の場合: 姓・名の順に記述する。欧文著者の場合, 姓名の間に“,”を入れる。名は頭文字のみに省略してもよい。

例:

常葉恵子  
Cross, K.

- 複数の場合：すべての著者名を列記することが望ましい。  
和文著者は“,”で、欧文著者の場合は“;”もしくは“and”, “et”などの接続詞で区切る。

例：  
菱沼典子, 田代順子, 羽山由美子  
Folland, G.B.; Stein, E.M.  
Lee, M.H., Barness, D.P. and Hardy, M.N.

- 単行本の場合：  
編者名が記載されている場合には、編者を著者とみなし、その後に役割表示“編”, “ed.”, “comp.”などをつけて記述する。

例：  
及川郁子監修, 村田恵子編. 病とともに生きる子どもの看護. 東京, メヂカルフレンド社, 2000, 322.

図書の1論文, 1章を参照した場合, 図書の編者名は役割表示をつけて, 書名の後に記述する。

例：  
都築正和ほか. “高分子医用材料に対し臨床的に要求される物性機能性”. 医用高分子材料. 医用高分子材料編集委員会編  
Hopsinger, E. J. “Snow avalanche motion and related phenomena”. Annual Review of Fluid Mechanics. Van Dyke, M. et al., ed.

翻訳者名は, 書名の後に役割表示をつけて記述する。

例：  
Kessner, M.T. 新しい数学：ゲーム理論. 武田和夫訳

- 電子文献の場合：サイトの設置者名とアドレス, サイトにアクセスした日付を記載する。

例：  
日本看護科学学会 <http://jans.umin.ac.jp> [2001-02-14]

## ② 誌名・書名

原則として略記せず, 完全誌名を記述する。

副書名は, 書名の後に“:”をつけ, 記述するが, 書名のみで内容についての情報が十分に与えられているときには省略してもよい。

## ③ 版表示

版の表示は出版物に記載されているとおりに記述する。

## ④ 雑誌の巻数, 号数

以下のように簡略法で記載

例：  
第2巻3号 → 2(3)  
vol. II No3 → 2(3)

3) 人文, 社会科学あるいは語学関係の論文にあっては, 以上の様式に合わせることを望ましいが, 英文論文の場合はAPAスタイルなど, 各分野の慣用に従うことでもよい。

## 4) 出典の明示

本文中で著者に帰属しない研究成果, 数値データなどを利用した場合, また他の文献より図表等を引用する場合は, その帰属先および出典を明記する。なお, 必要に応じて事前に著作権者の了承を得る。

7. 投稿の際に、提出するもの

- 1) 紀要原稿提出(様式1)に必要な事項を記入したもの。
- 2) 原稿: 本文, 英文要旨, 図表は, 複写も含めて原著論文の場合は3部提出。うち, 1部のみ記名し, 他の2部については記名, 所属などは伏せること。原著以外の論文は2部提出。
- 3) フロッピーディスク: 2枚(原則として, 3.5インチの2HDフロッピーディスク。事故等に備え, マスター・フロッピーディスクの保存を各自で行うこと。)

文書ファイルは, DOS/Vフォーマットのディスクに文書保存したもの(テキスト形式にはしない)を作成すること。文書ファイルの構成は, 前述の3のとおり。

・フロッピーディスクのラベルの記載事項

- 1) 記入者名
- 2) 大学名
- 3) 連絡先電話(ダイヤル・イン)およびFAX番号
- 4) コンピューターの使用ソフトおよび文書ファイル保存形式

なお, 提出された原稿およびフロッピーディスクは, 原則として返却しない。

8. 原稿の受理日は, 紀要委員が原稿を受け取った日とする。

9. 別刷に関しては, 30部までは無料, それ以上は著者の負担とする。30部以上希望する場合は, 投稿の際にその旨を紀要委員まで申し入れること。

10. 原稿提出期限は, 紀要委員会が定めた日とする。期限を過ぎたものに関しては, 一切受理しない。

※掲載論文の著作権は, 聖路加看護大学に所属するものとする。